

ジベレリンによる着花抑制で隔年結果を防ぐ!

ジベレリンによる 花芽抑制

- 多くのかんきつ品種でジベレリンとマシン油との混用処理が可能です。(裏面に記載)
- 温州みかんにおいてジベレリンと展着剤(登録のあるものに限る)との混用処理が可能です。

無処理区



ジベレリン液剤2,000倍(2.5ppm) マシン油乳剤60倍散布



試験場所:静岡県トピア浜松

品種:ゆら早生(5年生) 散布:11月中旬(収穫後) 調査:2014年5月8日

2013年 協和発酵バイオ株式会社の社内試験

■ 不知火におけるジベレリンとマシン油の混用事例

処理時期	処理区	直花数(花/区)	有葉花数(花/区)	新梢数(本/枝)
1月	ジベレリン2.5ppm マシン油60倍	22 ab	42	8
	ジベレリン2.5ppm マシン油80倍	9 b	35	12
3月	ジベレリン2.5ppm マシン油60倍	10 b	29	9
	ジベレリン2.5ppm マシン油80倍	11 b	44	9
無処理		58 a	66	3
有意差		**	n.s.	n.s.

分散分析により、**は1%水準で有意差あり、n.s.は有意差なし。
Tukey検定により、同一アルファベット間には5%水準で有意差なし。

2014年度日植調 生育調節剤試験成績集録より抜粋

試験場所:静岡県伊豆農業研究センター

品種:不知火 23年生 処理日:2015年1月28日、2015年3月13日 調査日:2015年5月10日

調査方法:旧葉100葉程度の枝を選び、直花数、有葉花数、新梢数を計数調査した。

■ 温州みかん(日南1号)におけるジベレリンと展着剤の混用事例

処理区	直花数(花/100節)	有葉花数(花/100節)	新梢数(本/枝)
ジベレリン2.5ppm 展着剤※1,000倍	7.5 a	27.3	19.2
無処理	58.7 b	21.9	6.6

アルファベット異符号間にはTukeyにて5%水準で有意差あり。 ※スカッシュ(丸和バイオケミカル機製) 2013年度協和発酵バイオ社による社内試験

試験場所:宮崎県総合農業試験場

品種:温州みかん(日南1号)22年生 処理日:2013年12月10日 調査日:2014年4月18日に着花数、7月17日に新梢数を調査した。

調査方法:1樹当たり側枝6本を無作為抽出、枝先20cm調査法に基づき調査した。



1本:40mL
(ジベレリン200mg)

1本:100mL
(ジベレリン500mg)

住友ジベレリン液剤 農林水産省登録24260号

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農業の総使用回数
かんきつ(苗木、ただし、温州みかんを除く)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	12～3月	1回	立木全面散布又は枝別散布	1回
かんきつ(不知火、かぼす、はるみ、すだち、平兵衛酢、長門ユズキチ(無核)、温州みかん、紅まどんなを除く)		ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布又は枝別散布	
		ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a	収穫後～3月		立木全面散布又は枝別散布 (マシン油乳剤60～80倍液に加用)	
		不知火 はるみ 紅まどんな	ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a		収穫直後～ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布又は枝別散布
ジベレリン 2.5ppm			200～700 L/10a	収穫後～3月		立木全面散布又は枝別散布 (マシン油乳剤60～80倍液に加用)	
長門ユズキチ(無核)、すだち 平兵衛酢、かぼす			ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a		収穫直後～ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布又は枝別散布
温州みかん(苗木)		ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	11～1月		立木全面散布又は枝別散布	
		ジベレリン 10ppm				立木全面散布又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン※1000～2000倍液に加用)	
		ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a			立木全面散布又は枝別散布 (マシン油乳剤60～80倍液又は展着剤に加用)	
温州みかん		ジベレリン 25～50ppm	50～250 L/10a	収穫直後～ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布又は枝別散布	3回以内
		ジベレリン 10ppm				立木全面散布又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン※1000～2000倍液に加用)	
		ジベレリン 2.5ppm	200～700 L/10a			11～1月 但し、収穫後	

※プロヒドロジャスモン5%液剤

薬剤の調製法 本剤は下記の表に従って所定量の水に希釈すれば希望濃度の水溶液を作ることができます。

ジベレリン濃度	2.5ppm	5ppm	10ppm	25ppm	50ppm
包装容量					
40mLの場合(ジベレリン200mg)	80L	40L	20L	8L	4L
100mLの場合(ジベレリン500mg)	200L	100L	50L	20L	10L

使用に当ってはその都度溶解調製することが望ましい。溶解後放置すると効力が低下する場合がありますので、なるべく調製当日に使い切ってください。
ボルドー液等アルカリの強い薬剤との混用はさけてください。
本剤の使用に当っては使用濃度、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

かんきつ

温州みかん

〈花芽抑制による樹勢の維持〉

- ・衰弱した樹勢のものに使用しても期待した効果が得られない場合があるので、衰弱した樹には使用しないでください。
- ・低温が続いた年(極端な低温の年)または花芽の減少が予測される稔年の場合は、遅い時期の低濃度処理を心がけてください。
- ・散布の際は薬液が葉先からしずくとなり落下する程度に散布してください。
- ・ジベレリンの使用濃度を2.5ppmで使用するときは、マシン油乳剤60～80倍液に加用してください。
- ・マシン油乳剤はジベレリンに加用の登録のある剤を使用し、マシン油乳剤の注意書きを確認のうえ、使用してください。

〈花芽抑制による樹勢の維持〉

- ①ジベレリンの使用濃度を2.5ppmで使用するときは、マシン油乳剤60～80倍液または展着剤に加用してください。
- ②マシン油乳剤または展着剤はジベレリンに加用の登録のある剤を使用し、マシン油乳剤または展着剤の注意書きを確認のうえ、使用してください。

住友ジベレリン液剤

⚠ご注意:ご使用にあたっては、添付の使用説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。

使用上の注意事項

- 栽培管理・肥培管理の不十分な不良環境下の園では、ジベレリンの効果が十分発揮されない場合がありますので注意してください。
- 異常気候(高温・低温・乾燥など)の条件下では効果が不十分な場合がありますので、不良環境・異常天候と思われる場合は最寄りの指導機関に相談するなど十分注意の上使用してください。